

お盆にまつわるQ&A



今年もお盆がやってきました。ご先祖さまをお迎えする準備は万端でしょうか？
今回は、お盆にまつわる小さなギモンについて、「年中行事Q&A」のコーナーでおなじみの
球陽寺、前住職・帰依龍照さんに教えていただきました。

* 監修：帰依龍照（きえりゅうしょう）



Q あの世界のお金というウチカビ（打紙）は、どれくらいお送りすれば（燃やせば）いいのでしょうか？ 今年も、宝くじにあやかっつて、7億円分ほど送ってみようかと思っつています。ご先祖さまがびっくりされるから、やめたほうがいいですか？

確かに、金額は気になりまっすね。とある計算方法では、昔の貨幣である1モン（文）を、現代の約20円と仮定したとき（あくまでも仮定です）、1モンが1000枚で1グワンモン（貫文）になり、約2万円。ウチカビ1束・5枚では、5マングワンモンになり、現代の約10億円（!!）に相当することになるのだそうです。まあ、あくまでも、「とある計算方法」なので、ご参考まで。

Q 先祖さまも、いきなり大金だとびっくりされることでしょうか？

「燃やす」のではなく、「カビアンジャー」とも言うように、「炙（あぶ）る」という表現を重んじます。炙っている途中でウチカビが消えてしまうと、「グソいのナナジョー（イチミとグソいの門）が閉まる」と話す先輩方もおられますので、門が閉まらないように、連続して炙ることが大切という考え方があつていいです。

Q 私の知る限りでは、沖繩のご先祖さまが「この乗り物を利用していい」という学術的な文献は、見当たらないようす。どんな乗り物なのか、私も非常に興味があるのですが…

昨年、あるおうちでグーヤーとナーペーラーで作られた馬と牛を拝見しました。キュウリとナスが夏野菜なので、沖繩の夏野菜の代表であるグーヤーとナーペーラーを使われたのでしょうね。これは、いいアイデアだと思つていました。グーヤーとナーペーラー、どちらも馬のようであり、牛のようでもあり、とてもかわいらしいものでした。うーん、どつちが馬だつたんだろう？

Q 5歳の息子にウチカビの意味を教えたら、「おじいちゃんが好きだつた車をあげる」といつて、自分で描いた絵を燃やして（炙つて）あげたいと言ひ張ります。こういう贈り物もアリでしょうか？

「目（め）送り」ということで、嘘（まぶた）越しに見送るといふ意味があるようすから。

Q 実家では、ウーケイの際、家を出た先の路地までみんなで歩いて見送つていました。でも、婚家では玄関先で、「また来年ね」と挨拶して終わりです。なんか、ちよつと寂しいのですが…

「目（め）送り」ということで、嘘（まぶた）越しに見送るといふ意味があるようすから。

Q アリですね！ 実にいい発想をお持ちのお子さまです。ウチカビは「ウヤフアーフジを忘れず、敬つていませう」といふ思いの表れだといふ先輩方もおられます。大切なのは、「おじいちゃんが好きだつたものを…」という息子さんの気持ちです。生前好きだつたものを準備することが、お供え物の原点でもあります。お子さまが一生懸命に描いてくれた絵を炙りながら、笑顔で受け取つてくれるおじいちゃんを思い出しつつ、心温まる旧盆をお過ごしく下さいね。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

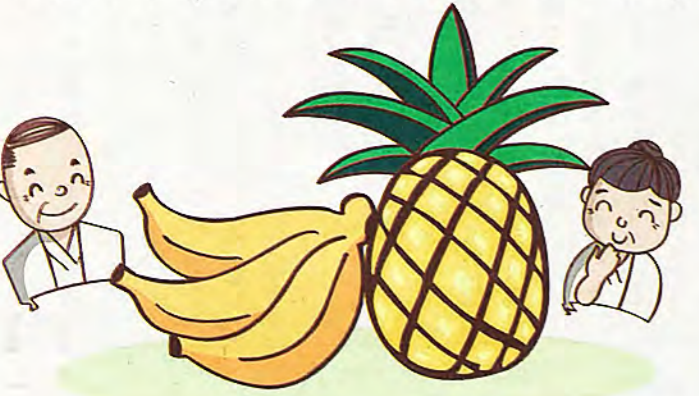
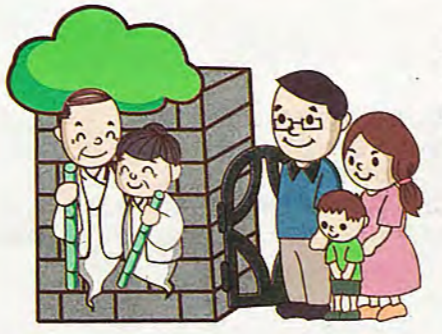
Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。

Q 重箱やお膳料理を中心に、お菓子類や団子などをお供えしていいと聞きます。それ以前は、山海の珍味といわれるので、塩（マース）やお米（ハナグミ）も含まれていいと思われまっす。また、果物を供えるのは、その色彩に故人の人生を表す意味があるからともされていませう。紅（あか）は故人の人生の誕生を、白は人生の終焉を、紫はご苦労を、黄色は幸福を表しているようす。このことから、パイナップルやバナナの黄色は、故人の幸福を表しているといふ説があつていませう。



お盆の由来

お盆の正式な名称は、盂蘭盆会（うらぼんえ）といい、インドの昔の言葉であるサンスクリット語では、「ウランパーナ」といわれます。ウランパーナとは、お釈迦様の弟子のモッガラーナの亡き母親が、餓鬼という迷いの世界に落ちていたときの苦しみを意味する言葉。モッガラーナは母を救うために、修行を終えた僧侶に食べ物や飲み物を献上しました。この献上品が、今でいうお盆のお供え物にあたと考えられています。また、モッガラーナは母親が救われたとき、喜びのあまり飛び跳ねて踊り回つたとか。これを盆踊りの始まりとする説もあり、広い意味では沖繩の念仏踊りであるエイサーの由来といえるかもしれません。

